

多方面で活躍する卒業生

就農



崎山 一樹

(平成 30 年度研究科卒)

我が家は千葉県旭市でキャベツ 7 ha、ダイコン 1 ha を栽培しています。

私は旭農業高校から農業大学校に進学しました。大学校では情報経営専攻に所属し、模擬会社の副社長を務め、「農業経営」について実践的な勉強ができました。

現在は農業事務所で開催している農業経営体育成セミナーに参加し、日々、お客様に喜ばれる高品質な野菜づくりに励んでいます。



小松田 裕史

(平成 30 年度研究科卒)

私は現在、千葉市にある株式会社高梨農園で働いています。少量多品目型の経営で年間約 100 種類近くの農産物を生産しているのが特徴です。

私は元々、非農家なうえ、農業知識がほぼ 0 の人間でした。しかし、農業大学校に入学したおかげで、農業知識や技術だけでなく、他県の農業仲間、かけがえのない友人など、多くのものを得ることが出来ました。今の会社に入社することが出来たのも学校のおかげです。農業大学校では 1 から農業について勉強ができます。



日暮 一葵

(平成 30 年度農学科卒)

私は親元就農し、柏市で家族と主にカブやネギ、葉ショウガを生産しています。戸惑うこともあります、少しずつ仕事を覚えて頑張っています。

大学校では、野菜、作物の栽培などの知識だけではなく、農業機械の操作法を専攻実習や機械化実習で学ぶことができ、資格も取ることができました。また、農業以外の授業もあり、少し変わった科目もありました。勉強のほかに、寮生活では、さまざまな人と触れ合い、仲間を増やす良い機会になりました。



高安 洋伸

(平成 30 年度農学科卒)

私は農業大学校を卒業後、就農し、銚子市で水稻とイチゴを主に生産しています。

農業大学校では、農業を学ぶほかにも農業に興味を持った仲間たちが集まり、みんなが 1 つの目標に向かって頑張るのでとても充実した日々を送ることができました。卒業後、友人たちとは今でも一緒に出掛けたり、食事に行ったりしています。

仕事については、不安なことや自分で決めないといけないことなどがたくさんあり大変ではありますが、農業大学校で学んだことを活かして経営を発展させたいと考えています。



小松 崇

(平成 30 年度農学科卒)

私は現在、白井市にある中嶋梨園で働いています。

2 年間の学校生活では、多くのことを学ぶことができました。入学時、普通科高校だった私は、とても不安で、農業についての知識も全くなかったのですが、寮生活での友人や先輩方との交流、農場実習での経験によって、農業についての知識を自然と身に付けることができました。今の職場では、学校で学んだ知識がとても活かされていて、農業大学校に入学して本当によかったと思います。